

こだわりのインテリアで美しく暮す

スタイリッシュな住まい

第4回 色で作る部屋

すつきりしているけど、装飾感がない。もっと個性あるインテリアにするには、どこから手を着ければ良いのかという質問をよく受けます。

最も簡単にインテリアのイメージを変え、個性を出すために押さえるのが「カラー・色」です。配色によってインテリアは大きく雰囲気を変え、シンプルにもラグジュアリーにもなります。

多くの方の傾向としてあるのが、カ



ラー統一のしすぎです。例えば白と黒、ベージュとブラウン、またブルートーン、ピンクトーン一色の部屋など無難に色を揃えてしまう方が多いのです。

では、どのように配色を決めていけば良いのでしょうか。現在の部屋の配色が2色にまとめられている、もしくは同系色の色を含めて2〜3色以内でしたら、もう一つ色を加えてみてはいかがでしょう。例えば家具はブラウン、壁は白やアイボリー、ブラウン・ベージュ系のファブリックのようにニュー

ずっと憧れている暮らし。
海外セレブのような家に住みたいという思い。
LAの名門インテリアデザイン事務所でキャリアを積んだ
インテリアデザイナー・Mayumi Nishijimaが
洗練された住まいのスタイリングを提案します。

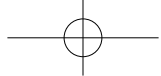


ヘッドボード、クッションを暖色、寒色でメリハリをつけて印象的に

インテリアデザイナー Mayumi Nishijima

世界屈指のインテリアデザイン事務所 @ Los Angeles にてホテルデザインに携わる。Barry Design Associates に在籍、世界各国の5ツ★ホテルを手掛ける。その後、総合商社にてインテリアデザイナーとして勤務後、専門学校にてインテリアデザイン科の設立からカリキュラムの構築及び専任教師へ。多数のインテリアコーディネーターの卵を送り出す。丸の内にOpenした五つ星ホテル：Shangri-La Hotelのホテルプロジェクトに参加。現在はフリーランスインテリアデザイナーとして個人邸、サロンなどを手掛ける。





RULE INTERIOR DESIGN

ルール インテリア デザイン

インテリアデザイン・リフォーム
施工・オリジナル家具

www.ruleinterior.com



陶器、アートを使ったアクセントコーディネート

トラルカラーが基本の部屋なら、紫やブルー系など寒色のクッションをソファにたくさん並べるだけで、雰囲気はずいぶん変わります。あくまで少ない色にこだわりたいという方なら、インテリアはそのままにして、反対色のフラワールレンジメントを飾ったり、色つきのキャンドルを一カ所に数個まとめて飾ってみたりと、小物でアクセントをつけるのも良いでしょう。

手軽に色を加える具体例

- ① インパクトある色やパターンのスツールやオットマン、クッションを加える。個性的な色・デザインのチェアをプラスする。
- ② ファブリックやキリムなどの布製品をテーブルやソファに掛けたら、壁に飾ったりする。
- ③ 陶磁器・ガラス類（大きめでインパクトの強いもの、または数をまとめて装飾する）。
- ④ 大きめサイズの壁面装飾。
- ⑤ フラワールレンジメント、グリーン、フルーツなど。

大きくイメージを変えたい時は、壁紙やカーテンを変えれば、全く違うイメージの部屋にできます。小物を使って色を加えるなら、数カ所に分けて配置するのが良いでしょう。例えば、クッションとインテリア雑貨で、またはアートとテーブルの布で色を加える、という風に。ただし色を合わせすぎたり、あまり多くの場所に点々と置きすぎるのも、色が喧嘩して垢抜けのないものになってしまう可能性があります。赤を加えるなら、微妙にトーンの違う赤を使ったり、パターンを変えることで、合わせすぎの落とし穴から抜け出せます。

ファッションや映画、街や自然の中など、色のヒントはたくさんあります。自分のイメージをインテリアに色で表現していくのは、とても楽しい作業です。ご自分の好きな配色をたくさん見つけて、楽しんで下さい。



壁紙のベースカラーとベッドのファブリックのカラーコーディネート